

第5次富士宮市総合計画後期基本計画策定に向けた

中学生会議報告書



令和3年3月 富士宮市

第5次富士宮市総合計画後期基本計画策定に向けた 中学生会議 報告書

目次

I	後期基本計画策定に向けた中学生会議 総括	1
1	開催概要	1
2	グループワークの進め方	1
3	グループ名・参加者	1
II	グループワークのまとめ	2
1	市の取組【よいこと】・【困りごと】	2
2	私たちが考える【このような富士宮市】にしていこう	7
III	参加者アンケート	12

I 後期基本計画策定に向けた中学生会議 総括

1 開催概要

- 目的** 第5次富士宮市総合計画後期基本計画策定にあたり、市が取り組んできた課題について、これからの富士宮市を担う若い世代の意見を聞き取るとともに、今後の市政への参画意識を高めていただくことを目的とします。
- 反映方法** ワークショップの記録は、市政に対する率直なご意見として、計画策定過程での若い世代の意見を知る資料とします。
- 実施方法** 市内中学校14校から、各学校2名、合計28名を事前アンケートを基に関心の近いメンバーで4班に分け、ワークショップ形式の討議を行います。
- 第1回 令和3年2月27日(土)、第2回 3月6日(土) いずれも午後1時から3時
 - 実施会場 富士宮市役所会議室
 - 新型コロナウイルス感染症対策のため、検温、マスク、消毒、ソーシャルディスタンスに留意して行います。

2 グループワークの進め方

【第1日目】

- これまでの市の取組について
- 自己紹介、グループ名決定など
- グループワーク
「関心のある富士宮市の課題(グループで取り組むテーマの設定)」「テーマについての現状(よいこと、困りごと等の洗い出し)」

【第2日目】

- グループワーク
「私たちが考える【このような富士宮市】にしていこう(伸ばしたい市の魅力、改善・解決したいことについて、アイデアを出しまとめます)」
- 全体発表
- 教育長による講評
- 1分間スピーチ
「富士宮市に住んで通って思うこと」

3 グループ名・参加者

グループ名	参加者(学校名・氏名)			
環 境	富士宮第一中学校 富士宮第三中学校 井之頭中学校 芝川中学校	渡邊瑞生 藤田 和 山崎夏生 原田晴加	富士宮第二中学校 西富士中学校 大富士中学校	渡邊拓夢 野口碧鳳 川原崎友梨
腹ペコFoodFighters	富士宮第一中学校 富士根北中学校 井之頭中学校 芝川中学校	伊藤杏奈 中野莉稟 植松結音 佐野尚哉	富士宮第四中学校 北山中学校 上野中学校	遠藤翔晟 赤池晃太郎 是川慧子
チームOCHA	富士宮第四中学校 西富士中学校 大富士中学校 星陵中学校	伊藤瑠花 前嶋来海 鈴木信孝 加藤凜子	富士根南中学校 上野中学校 柚野中学校	渡邊果歩 須藤 建 渡辺ひより
中学生教育委員会	富士宮第二中学校 富士根南中学校 北山中学校 星陵中学校	中田真実 松戸大河 石川安梨 松田梨緒	富士宮第三中学校 富士根北中学校 柚野中学校	戸塚聖奈 佐藤寛音 福島旬弥

II グループワークのまとめ

1 市の取組【よいこと】・【困りごと】

ワークショップ1日目では、各グループで市の取組のうち関心のあるテーマを設定し、現状についてブレインストーミングの手法を使って【よいこと】【困りごと】を整理し、「今、富士宮市では〇〇に取り組んでいます」の形にしてまとめました。

グループが選んだテーマ（市の取組）	「よいこと」「困りごと」の主な意見のまとめ
<p>グループ：環境</p> <p>「今、富士宮市では観光に取り組んでいます」</p>	<p>「よいこと」を自然、食べ物、観光客から捉えました。自然が多く稀少生物が残り、太陽光パネル等が景観を破壊することのないような配慮があること、ニジマス、やきそば等の名物を活かしていること、世界遺産富士山や景観、自然を生かして観光客が訪れること等でまとめています。</p> <p>「困りごと」では、富士山のゴミ、不法投棄、ポイ捨て等のゴミ問題、観光地に偏りがあリ施設や商店が少ないこと、移動手段が少ないこと等交通の問題にも意見が出されました。</p>
<p>グループ：腹ペコFoodFighters</p> <p>「今、富士宮市では食に取り組んでいます」</p>	<p>「よいこと」では、富士宮焼きそばやニジマスなどの有名な食べ物のほか、お茶や朝霧高原の牛乳、野菜など特産品があること、それを支える土地があり、農業、酪農等地域産業が盛んであることなど、富士山、構成資産と産業の結びつきでまとめました。</p> <p>「困りごと」では、おいしい食べ物が有名ではないこと、富士山へのゴミ等への意見が出されました。</p>
<p>グループ：チームOCHA</p> <p>「今、富士宮市では長く住めるまちづくりに取り組んでいます」</p>	<p>長く住めるための施設に視点を置き、公共施設、景観、道路や空き地、高齢者等に意見が集まりました。「よいこと」では、公民館等の公共施設が整備されてきたこと、富士山や町の景観を守る取組があること、ラウンドアバウトやグリーンベルト、ユニバーサルデザイン等でまとめました。</p> <p>「困りごと」では、高齢化が進み若者が市の外に出てしまう、街灯が少なく暗い道、空き地、空き家、空き店舗問題等が出されました。</p>
<p>グループ：中学生教育委員会</p> <p>「今、富士宮市では10年後住みやすいまちづくりに取り組んでいます」</p>	<p>10年後住みやすいまちづくりに視点を置き、文化、スポーツ、学生、施設等に意見が集まりました。「よいこと」では、世界遺産等身近に文化に触れられる、文化が根付き集客力がある、学生が地域について学習している、地域連携等でまとめています。</p> <p>「困りごと」では、道路を直してほしい、耕作放棄地、福祉や教育施設が少ない、本物の文化に触れる機会が少ない、大きなスポーツ大会の会場がない、クラブチームが少ない、学生の入場料を無料にしてほしい等の意見が出されました。</p>

今、富士宮市では**観光**に取り組んでいます

グループ名
環 境



渡邊(瑞)、藤田、山崎、原田、
渡邊(拓)、野口、川原崎

よいこと

自然

- 再生可能エネルギーへの関心
- 自然が多くある
- ホテル、ギフチョウ等多様な生物がいる
- 稀少動物等で有名な地区
- 太陽光パネル設置の自然・景観への配慮

食べ物

- ニジマスを利用、朝霧の産物を利用した新製品の開発
- 富士山、やきそばが有名

観光客

- 富士山世界遺産センターには多くの外国人が訪れる
- 世界遺産センター小学生以下無料、市内探検しやすい
- 富士山がきれいに見えるところが多い
- ラフティングやパラグライダーで富士宮しか見れない景色をみられる
- 白糸の滝以外にも七滝など多くの滝がある

困りごと

ゴミの問題

- 富士山のゴミを減らすボランティアを増やす、ポイ捨てをなくそうという意識を高める
- 市の中心部は回収しやすいためゴミが少ないが、回収しにくい富士山等はゴミが多い
- ゴミの不法投棄などの防止ができていない
- プラスチックごみの増量
- 富士山のゴミの問題、捨てていく人がある
- 観光スポットには多くの人がかかるためゴミが多い
- 外国人が多く来るのに町にゴミが落ちていたり落書きをされていたりと印象が悪い

観光施設

- お店が少ない
- 宿泊施設が少ない
- 商店街にシャッターが閉まっているところが多い
- その場所でもかできないようなことがなさそう
- 有名な観光名所が少ない
- 観光となる浅間大社周辺、朝霧高原など偏りがある
- せっかくいいものがあるから宣伝すべき
- 路上で写真を撮るなど、マナーを守らない人がある
- 観光客の滞在時間が少ない
- 駐車場等のスペースが少ない、でも車以外の手段では市内全体は回れない
- 県外、外国人の人を見かけることが少ない

交通の問題

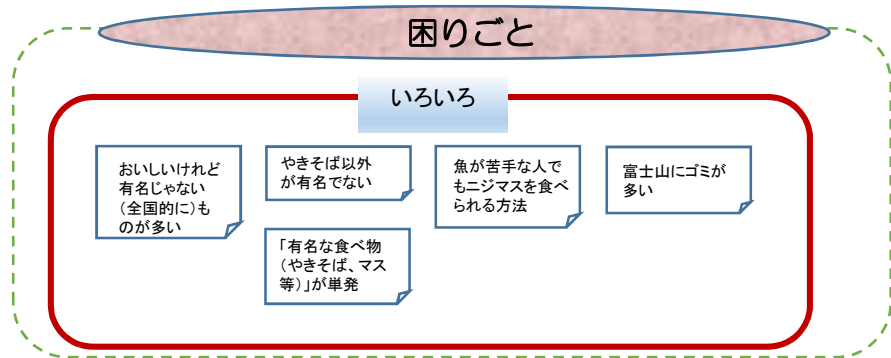
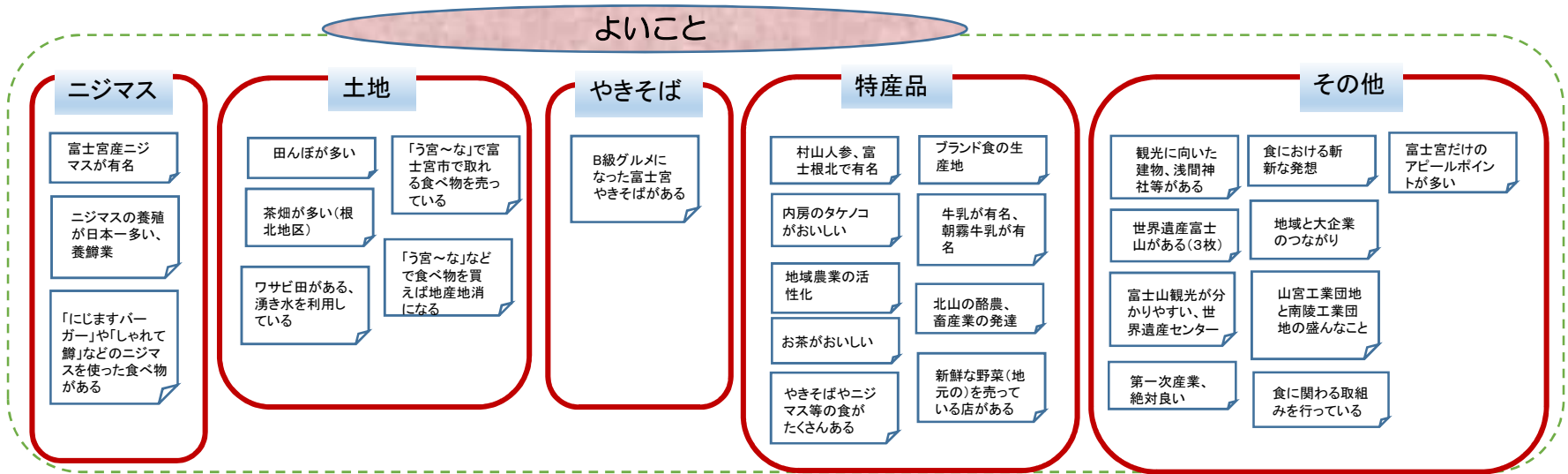
- 交通網の発達が必要
- 道がきたない
- バスが少ない
- 白糸のあたりでは移動手段が少なくなる
- 道が混む、観光地周辺

どちらとも
いえない

- 多くの外国人が訪れるため標識がローマ字から英語に変化した

今、富士宮市では**食**に取り組んでいます

グループ名
腹ペコFoodFighters



伊藤(杏)、中野、植松、佐野、遠藤、赤池、是川

今、富士宮市では**長く住めるまちづくり**に取り組んでいます

グループ名
チームOCHA



伊藤(瑠)、前嶋、鈴木、加藤、
渡邊(果)、須藤、渡辺(ひ)

よいこと

公共施設

- 公共施設を使いやすく整備(2枚)
- 耐震工事をしている公共施設が多い
- 公園を作る
- 災害が起きた時の避難所がある
- みんなが集まれる公民館がある
- 公共で使えるものが増え、新しくなっている
- 広場の整備

景観

- 富士山の景観保存のための規定がある
- 富士山はたぶんよく見えている
- 自然を生かした建物が多い
- 富士山の町らしい景観が作られている、コンビニの色、観光地など
- 町の景観を守る、新しくする
- 赤い橋の塗り直し

道

- ラウンドアバウトを作った
- 歩道をわかりやすくするため緑色に塗る
- グリーンベルトを作っている
- 自転車が行ける青い道を作って交通事故を減らす

トイレ

- トイレのきれいなところが多い
- 多目的トイレ、ユニバーサルデザイン

空き地

- 放置されていた
- 空き地を畑に、ブルーベリー狩り、牧場

ユニバーサルデザイン

- ユニバーサルデザインが多くある
- 観光地にスロープなどみんなが使いやすいように考えられて置かれている(UD)

その他

- 長く続いている店や企業がある
- 高齢者施設、老人ホームがたくさんある
- 外国人観光客に対する配慮が進んでいる
- 遺産とかを再調査してたくさんの方が触れやすく!

困りごと

高齢化

- 高齢化が進んでいる
- 若い人が減っている、東京に行ってしまう

道

- 街道が少なく暗いところが多い
- 交通に不便な地域がある

空き家

- 空き家の雑草がすごい
- 誰も済んでいないような空き家が多い
- 利用されていない土地や空き店舗が多い
- 老朽化した建物が見られる
- 商店街がシャッターを閉めている店が多く活気があまりない

その他

- 地域とのコミュニケーションが取りにくい
- 育休、産休が取りにくいところがあるかも
- 児童館、福祉会館が少ない
- 国全体のことだけでなく同性婚などセクシャルマイノリティを認める活動が見られない

ワークシートのまとめ

今、富士宮市では**10年後住みやすいまちづくり**に取り組んでいます

グループ名
中学生教育委員会



中田、松戸、石川、松田、戸塚、佐藤、福島

よいこと

自然

自然が豊か

水がおいしい

身近な文化

世界遺産が近くにある

文化が根付いている

文化、芸術による集客がきている

地域・学生

地域について考える時間がある(学生)

小中学生が校外学習をできる、受け入れてくれる地域がある

地域の連携が強め

困りごと

施設

学校同士、老人ホーム、幼稚園等との交流の場が欲しい

福祉施設が少ない

耕作放棄地があること

ユニバーサルデザインを増やす、いろんな人に来てもらうため

道や建物の老朽化

地震に強い家を作る

学校の減少

学校の減少

道路の整備

文化

富士山世界遺産センターを訪れる人が少なくなった

学生のチケット代を無料にしてほしい

伝える場が少ない・交流が少ない

文化を伝える活動が少ない

本物の芸術に触れられる環境が欲しい

スポーツ

スポーツ人口減っている

クラブチームが少ない

大きな大会を行うときの会場が少ない

新しい設備がない・ルールから外れている

地域で行うマラソン大会等が中止に!

スポーツできる環境を増やす

人口

過疎化が進むこと

10~20代の人が減る、魅力が知られていない

少子高齢化が進んでいること

店

商店街が静か

店の量が少ない

その他

犯罪をなくす

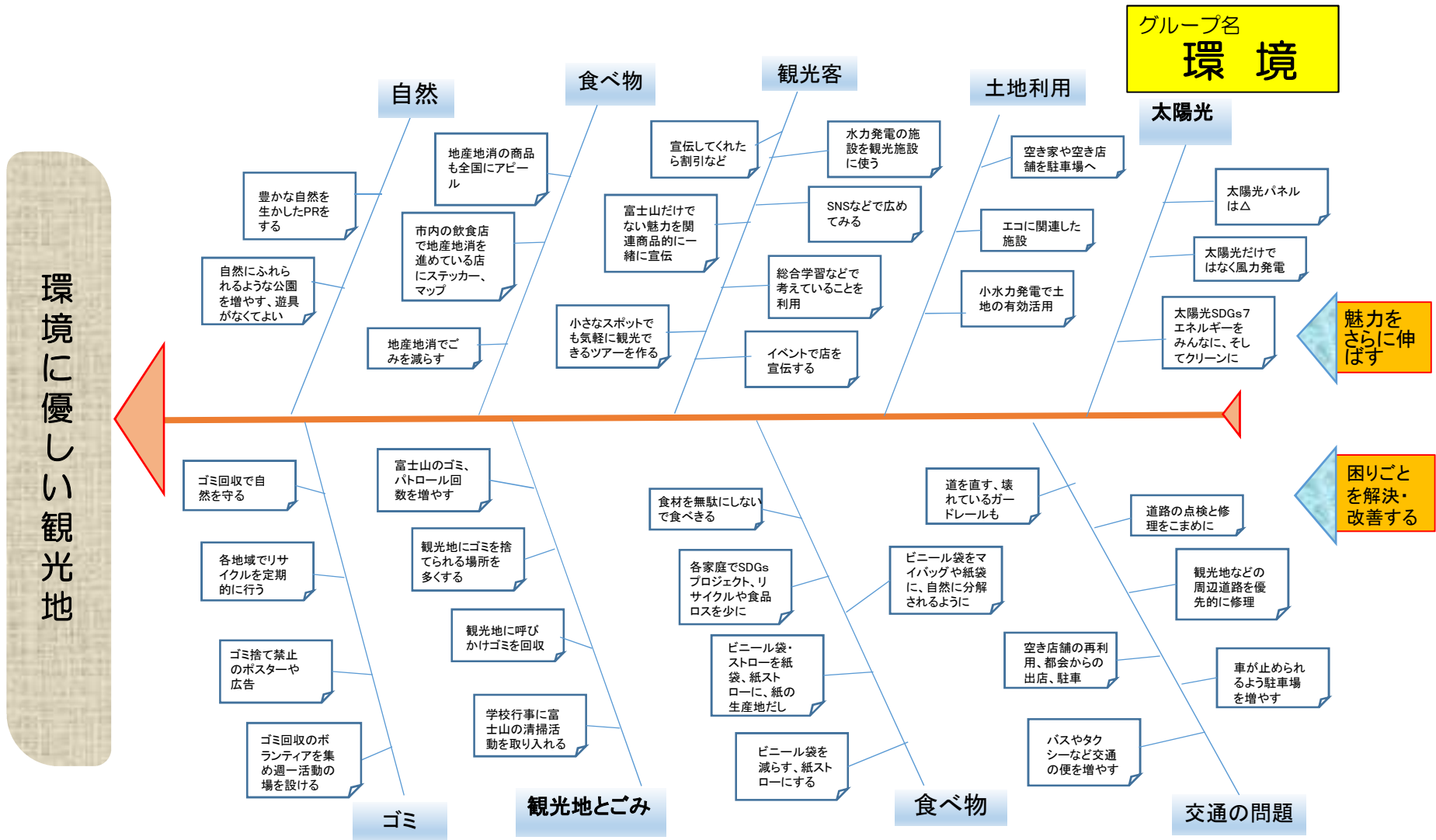
富士山等のクリーン活動が少ない

2 私たちが考える【このような富士宮市】にしていこう

ワークショップ2日目では、前回設定したテーマについて掘り下げ「魅力をさらに伸ばす」「困りごとを解決・改善する」についてブレインストーミングによってアイデアを出しました。
各グループで「私たちが考える【このような富士宮市】にしていこう」の形の提言にまとめました。
提言発表の後、池谷眞徳教育長より全体講評をいただきました。

グループごとのテーマ・方向性	「魅力をさらに伸ばす」「困りごとを解決・改善する」の主な意見のまとめ
<p>グループ：環境 「私たちが考える 環境に優しい観光地 富士宮市にしていこう」</p>	<p>環境を守りつつ、観光地として魅力のある市としていくことをテーマとしました。「魅力」の視点を自然、食べ物、観光客、土地利用、太陽光発電等とし、豊かな自然をPR、地産地消、小さなスポットでエコツアー観光を、小水力発電も観光に有効活用、SDGsなど環境に優しい観光などにまとめました。 「困りごとの解決」では、富士山のゴミの回収、各家庭でのSDGs、食材を無駄にしない、観光地周辺の道路整備を優先するなどの提言にまとめました。</p>
<p>グループ：腹ペコFoodFighters 「私たちが考える 若者に魅力を発信し、食に富んだ 富士宮市にしていこう」</p>	<p>若者に食の町の「魅力」を発信することを考えました。また、農家の減少の課題も検討し土地利用につなげています。SNSを使ったPR、特産品の販売促進や学校給食、メニューの開発、湧水の活用、空いている土地を農地活用、農地体験、特産品センター等でまとめました。 「困りごとの解決」では、知名度を上げるためのツアー、清掃ボランティア、紙の産地で紙の容器、農家を増やすことなどを提案しています。</p>
<p>グループ：チームOCHA 「私たちが考える 空き家や公共施設を再利用し、今と昔の文化を交えながら、幅広い世代の方に愛される町 富士宮市にしていこう」</p>	<p>空き家の利用と新旧の文化・歴史が交差するまちを方向性として考えて提言をしました。若い人も呼び込みながら高齢者の活躍の場も作ろうとしています。空き地、景観、ユニバーサルデザイン、公共施設等を「魅力」とし、さらに楽しめるような工夫を提案しています。 「困りごとの解決」に向けては、高齢者の知恵を生かす、若者を呼び込む、空き家を観光に利用する、道や橋を作り変える、宿泊施設と特産品の融合、移住促進等のアイデアが出されました。</p>
<p>グループ：中学生教育委員会 「私たちが考える 文化や自然の交流を通して市内の人も市外の人魅力を感じられる 富士宮市にしていこう」</p>	<p>文化と自然を「魅力」の中心に捉え、人の交流と組み合わせた提言をしました。学生や市民も質の高い文化に親しめるよう、オーケストラやプロスポーツにも触れています。地元文化にもっと触れる、大人版富士山学習、駅ピアノを置く、SNSでのPRなど「魅力」を伸ばすアイデアを出しています。 「困りごとの解決」のための意見には、施設を増やす、スポンサー企業、駅周辺の魅力を作る、商店街にシャッターアート、耕作放棄地の利用、祭りや商店街の連携等が出されています。</p>

ワークシートのまとめ

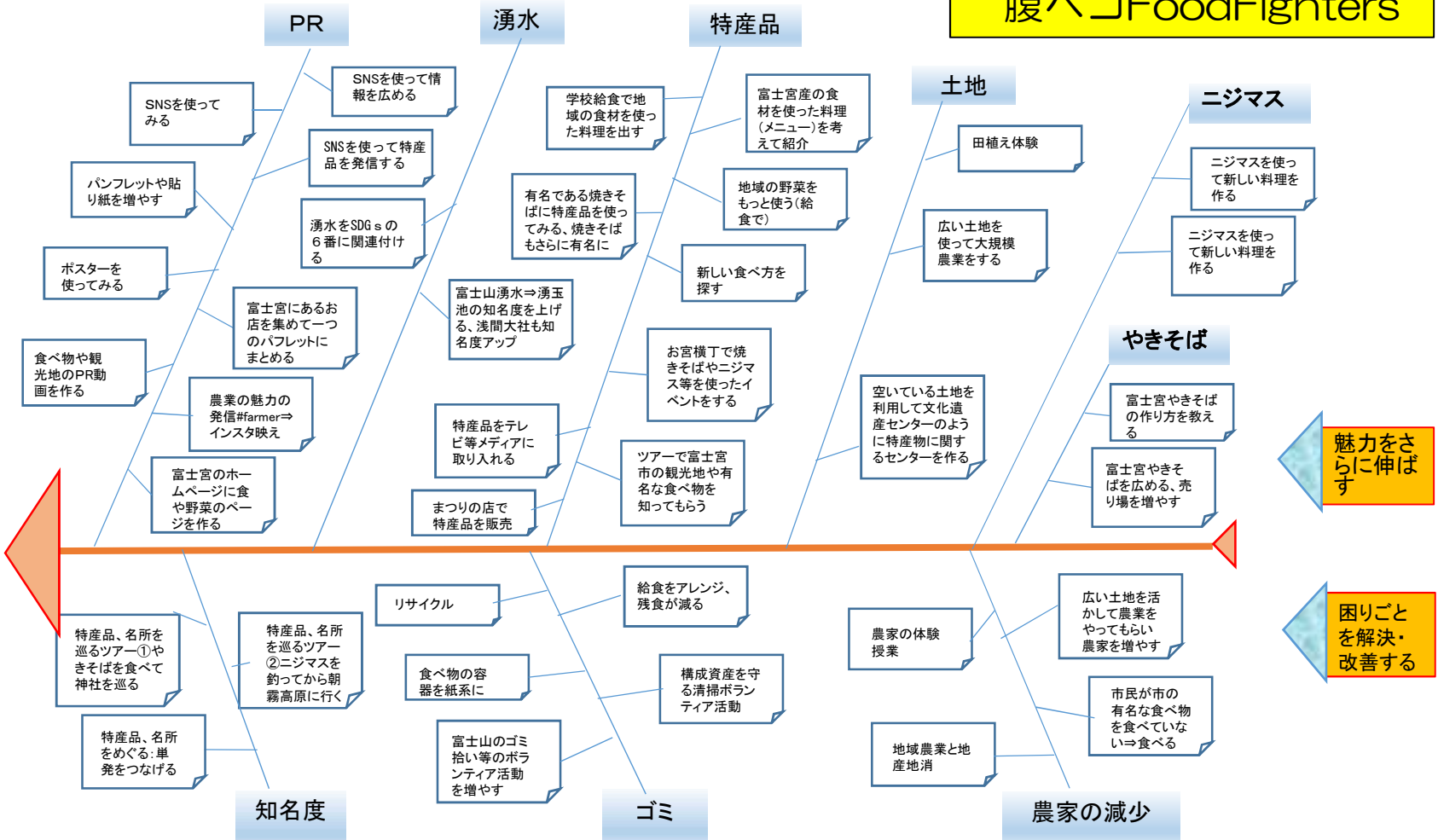


環境に優しい観光地

ワークシートのまとめ

グループ名 腹ペコFoodFighters

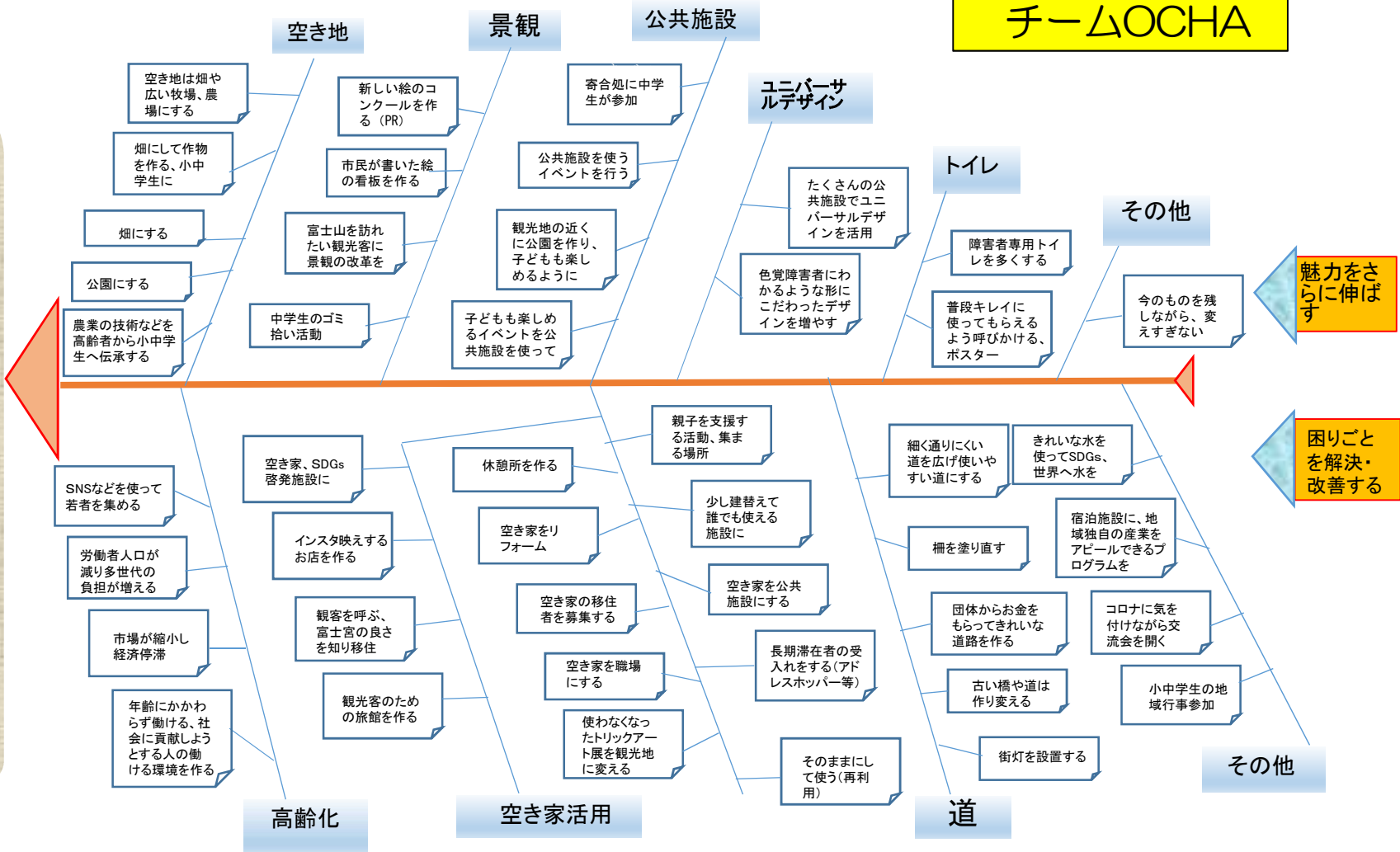
若者に魅力を発信し
食に富んだ富士宮市



ワークシートのまとめ

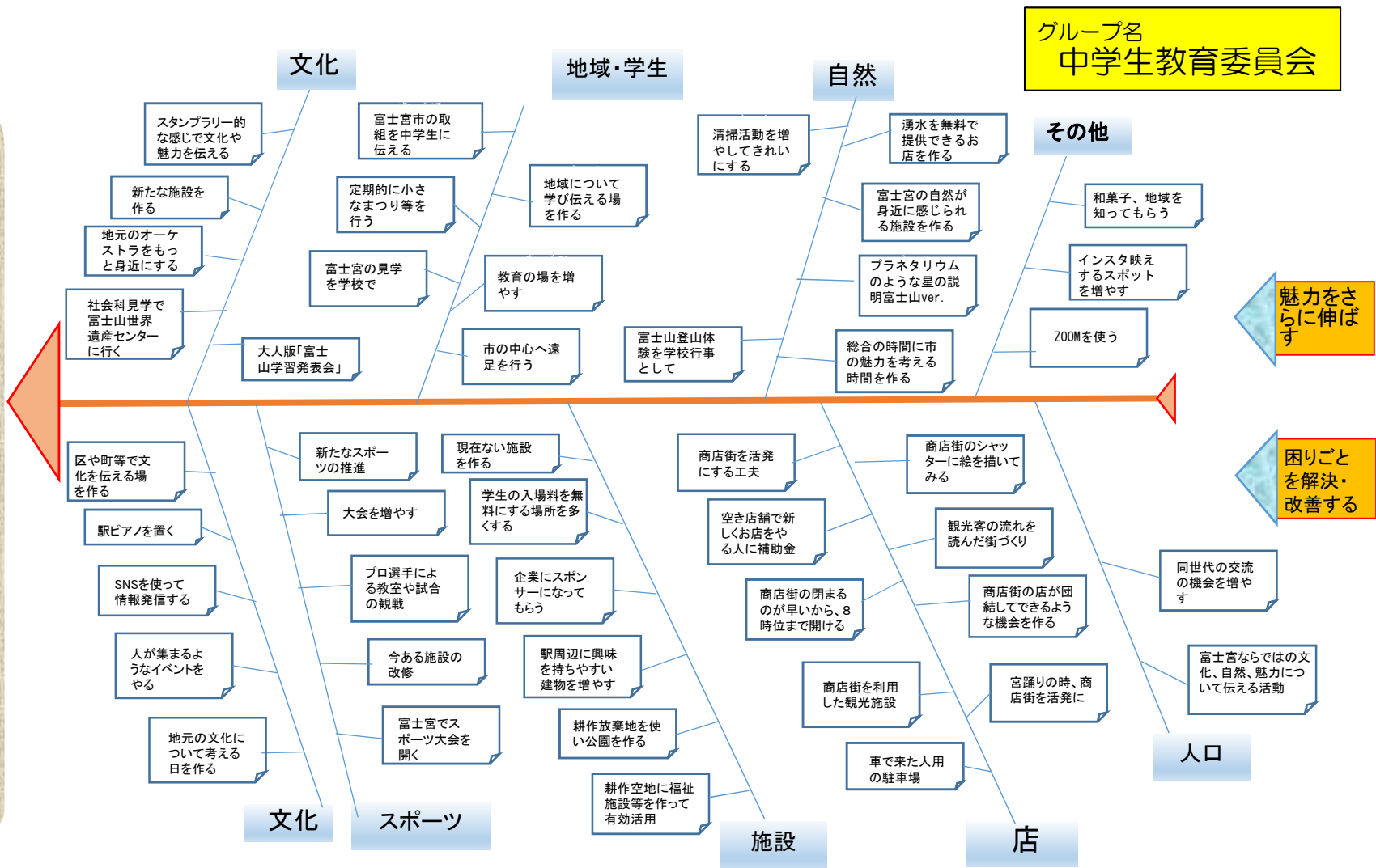
グループ名
チームOCHA

空き家や公共施設を再利用し
今と昔の文化を交えながら
幅広い世代の方に愛される町



ワークシートのまとめ

文化や自然の交流を通して市内の人も
市外の人も魅力を感じられる富士宮市



Ⅲ 参加者アンケート

ワークショップ終了後、参加者全員からアンケートをいただきました。「市の取組への理解は深まったか?」「もっと理解を深めたい市の取組はあったか?」「提案や意見はワークショップの中で反映されたか?」「今後も市の取組や計画に関わってみたいと思うか?」のすべての項目で全員が「はい」と回答しました。以下は、自由記述から提出者全員の意見をご紹介します。

このワークショップに参加したご意見やご感想、ご要望を教えてください

お宮横丁の近くなので富士宮といえばやきそば、というイメージが強かったが、いろいろな中学校の意見を聞いて知らない富士宮の魅力がわかってよかった。

様々なところから見た意見を取り入れる良い機会となった。このような話し合いで市をもっとよくなり、新たな仲間を増やしたい。

他校の人の意見を聞くことで、よいことだと思っていたことが実は改善すべき点だったことなど、様々な視点から考えることができた。富士宮市がよりよくなるため精一杯のことをしていこうと改めて感じた。

総合の時間で地域と関わることは多かったが、とても大事なことだと感じた。富士宮市No.1だと思います!! 将来的にか市に貢献できるようになりたい。

他の中学校の意見を聞いて、自分では考えていないことがあって発想がふくらんでとても良い機会となった。またこのような場があったら参加したい。

4つのグループごと違う視点で意見を出していたけれど、すべて富士宮市を良くするという目的につながっていてすごくいいと思ったし楽しかった。市の魅力をもっと発信していきたい。

今まで他校との関わりがなかったので、今回話せてよかった。会って話し合うからこそ出てきた意見もあって楽しかった。

他校と人と交流できたのは良かったが、やはり最初は距離があるので最初に交流を深めるフリートークができるとよかった。それ以外は意見はなくとても楽しい話し合いになった。

たくさんの学校の人と話しができて、様々な視点から考えを聞くことができて楽しかった。小規模での取組が行えるようにしたい。

色々な学校の人たちと富士宮について意見交換ができ、地域のことを知る良い機会となった。今回の会議を活かして良さを広めていけたらと思う。

とてもいい経験になった。いろいろな中学の人と関わって、自然のことに取組みたいとか、食を大切にしたいとか、色々なことを知った。このような取組は大事なのでこれからも続けてほしい。

他校の人と話をすることで、新しい魅力を知ることができた。今後もこのような話し合いに参加したい。楽しかった。



このワークショップに参加したご意見やご感想、ご要望を教えてください

今回を通して富士宮市の取組を再確認できたり、交流しお互いの意見交換ができたのでよかった。

たくさんの意見を出すことで発見やつながりがあり、活発な意見交換はこれからも活かしていけると思った。若者の新鮮な考えはこれから変えるものだと思う。その気持ちを大事にして自分の主軸を発信したい。

参加するまで富士宮の魅力をあまり感じる事がなかったが、魅力を改めて実感した。将来私のような市の魅力を知らない人にも発信できるような職を進路の一つとして考えていきたい。

このような仕組みは2回だけでなく継続的にやってほしい。

自分が総合学習でやっていたこととは違っていたけれど、何となくつながっていた。同じ年齢の子たちの話しも聞けて楽しかった。今後の総合学習に活かしたい。

すごく楽しかったのでよかった。ホワイトボードをもっと大きくしてほしい。

色々な人たちの意見を聞いてよかった。改めて発見する富士宮の良いところもあったのでよかった。

コロナ禍の中でも他校の人たちと関わる機会があってとても楽しかった。意見を深められてよかった。

他の地域についても知ることができて良かった。

今回のようにしっかりと意見を出せるメンバーと話し合えたことは、大規模な人数での話し合いより充実したものだった。特に今日のテーマ「観光」はとても面白く、これからも調べていきたいと思った。

市の行く先を考える時によそ者は大事だと思う。僕たちは富士山が身近にあるから身近なものに誇りを感じないとしても仕方がないが、富士山がほんとに好きな人は外部の観光客だから先導してもらってはどうかと思う。

同世代の人たちと富士宮市の未来について考えることができ勉強になった。富士宮市を住みやすいまちにしたい。

コロナウィルスが大変な中、このような素敵な交流の場をつくってもらってよかった。話すのがあまり得意ではないが、他校の人たちと話しができてとても楽しかった。話し合いのしかたなど総合学習に活かしたい。

移住者や滞在者に向けたサービスの充実について意見を持っていたが、空き家利用という視点が加わりより具体的になった。言い切れなかった意見があるので、またこのような機会があれば参加したい。

自分の意見とは違う意見もたくさん聞いてよかった。市外に住んでいても、富士宮市の魅力をもっと知りたいと思った。ブレインストーミングという方法を使って意見が出やすくなってよかった。

